

乳幼児精神保健入門セミナー

【概要】

乳幼児精神保健（乳幼児の心の健康）は、我が国においても世界全体においても、大きな社会的課題の1つです。その理由は、乳幼児虐待・ネグレクト、育児困難、子どもの貧困、戦時状況など多くの社会的問題があり、それぞれが直接に乳幼児の心を傷つけており、さらに後の発達に大きな否定的影響を与えているためです。乳幼児の心の問題は現在このような社会的課題に直面していますが、我が国では、乳幼児精神保健を系統的に学ぶ機会が、大学などの教育も含め、必ずしも多くありません。

そこで我々は、まず乳幼児精神保健のほぼ全範囲をカバーできる入門セミナー（WEB・オンデマンド配信）を企画しました。本セミナーは、乳幼児に関わる現場で、多忙な中、四苦八苦されている支援者の方が多く、現在学生としてあるいは研究者としてこの領域を学んでおられる方が多く受講していただくことを企画しました。本セミナーにより、受講生の方々は、より短時間で乳幼児精神保健全体を大掴みでき、実践や学習の基礎として役立つことができる我们相信しています。また、興味を持られたい講義を単発で受講することも可能です。

乳幼児精神保健が専門である青木豊（あおきメンタルクリニック）と松本英夫（前東海大学医学部精神科教授；元児童青年精神医学会理事長）に加え、その領域で日本を代表される講師の先生に講義をお願いしています。

【セミナー内容全15回】

配信期間：2026年9月1日（火）～2027年8月31日（火）

※お申込みいただいた講義が年間を通していつでも視聴が可能です。

講義時間は内容によって異なりますが、1時間から1時間30分程度です。

I. 基礎

1. 乳幼児精神保健の概要と乳幼児の心の問題を捉える3つの見方（青木豊）
2. 周産期の心理と精神病理とその支援（永田雅子）

II. 乳幼児の心の発達の危険因子

3. 乳幼児の心の発達の様々なリスク因子と貧困（青木豊）
4. 小児期逆境体験（藤原武男）

III. 精神疾患・病理

5. 神経発達症Ⅰ（松本英夫）
6. 神経発達症Ⅱ（松本英夫）
7. 心的外傷後ストレス障害とトラウマフォーカスト認知行動療法（1）（亀岡智美）
8. 心的外傷後ストレス障害とトラウマフォーカスト認知行動療法（2）（亀岡智美）
9. アタッチメント関連障がい（青木豊）
10. その他の障害（睡眠、摂食、行動など）（松本英夫）

IV. 評価と支援・介入・治療

11. 介入の基礎：乳幼児-養育者関係性評価と介入・支援（青木豊・井上美鈴）
12. 安心感の輪プログラムCOSとCOSP（北川恵）
13. 親子相互交流療法 PCIT（細金奈奈）
14. 乳幼児-親心理療法（青木豊）
15. 社会的養護（上鹿渡和宏）

参加費：全15回セット 80,000円（税込） *各回に単回参加可能 1回 6,500円（税込）
※学生は全て半額 ※施設単位でのお申込みをご希望の場合は事務局までご相談ください。

対象者：乳幼児精神保健に興味関心のある専門職（心理職・保健師・福祉職・看護師・保育士・小児科医・精神科医、研究者、大学院生） *臨床心理士資格認定ポイント申請予定

開催方式：オンデマンド配信

視聴方法：あおきメンタルクリニックのホームページからセミナー専用ページにログインし、お申込みいただいた講義を視聴していただけます。

通年（全15回）でお申し込みの方は全ての講義を順不同でいつでも視聴いただくことが可能です。

*録音・録画・画面撮影は固くお断りいたします。

*守秘義務にご賛同いただける方のみご参加ください。

*講師へのご質問はアンケート内で受け付け、2027年6月30日（水）を締切りとさせていただきます。

2027年7月以降、講師からの回答をメールにてお送りいたします。

ご質問から回答までにお時間をいただくことをあらかじめご了承くださいませ。

お申込み：下記URL、右記QRコードよりお申込みください。

①通年参加（全15回）お申し込みの方はこちら → <https://forms.gle/o7N9ksE8qE38RXd77>

②単回参加（ご希望回のみ）お申し込みの方はこちら → <https://forms.gle/4fATG79gTctfUAjcb>

*折り返し、受理通知と振込先をご案内申し上げます。

原則として、参加費のご返金はいたしかねます。

お申込みの手続きが完了後は、あおきメンタルクリニックのホームページから

セミナー専用ページへログインするURLとパスワードをメールでお知らせいたします。

お申込みにはPC等のメールアドレスをご使用ください。

締め切り：2027年8月31日（火） ※2027年8月の配信期間終了までお申込みが可能です。

お問い合わせ：医療法人春乃会 あおきメンタルクリニック 研修事務局 aoki.seminar5@gmail.com

通年



単回



講師略歴

＊永田雅子（臨床心理士/公認心理師）

現職：東海国立大学機構理事

名古屋大学心の発達支援研究実践センター教授

専門：周産期精神保健、乳幼児精神保健

略歴：名古屋大学教育学部卒業、同大学教育発達科学研究科修了、名古屋大学発達心理精神科学研究センター准教授を経て、2017年より現職

著書：「新版 周産期のこころのケア」遠見書房（2017）、
「親と子のはじまりを支える——妊娠期からの切れ目のない支援と心のケア」（編著）遠見書房（2022）など
「周産期医療と“こころ”の支援—多様化する親子のはじまりを他職種で支える」（編著）誠信書房（2025）、

＊藤原武男（医学博士）

現職：東京科学大学 大学院医歯学総合研究科教授

専門：社会疫学、ライフコース 疫学、子ども虐待、母子保健、メンタルヘルス

略歴：東京医科歯科大学医学部卒業、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程修了（医学博士）、ハーバード公衆衛生大学院修了（公衆衛生学修士）、国立保健医療科学院生涯保健部行動科学室長、国立成育医療研究センター研究所社会医学研究部長等を経て、2016年より現職

著作：医学からみた「幸福は人に伝わる」潮出版社（2018）など

＊亀岡智美（精神科医）

現職：兵庫県こころのケアセンター副センター長

専門：児童精神医学、トラウマ関連障害の臨床

略歴：和歌山県立医科大学卒業、大阪府立病院を経て、大阪府立中宮病院松心園（現大阪府精神医療センター）に勤務。大阪府こころの健康総合センター、大阪教育大学客員教授、大阪大学大学院連合小児発達学研究所招へい教授を併任。2012年度より現職。

TF-CBT（トラウマフォーカスト認知行動療法）の公認トレーナー、TF-CBTラーニングコラボラティブ研究会共同代表

著書：子どものトラウマ治療のための絵本シリーズ「こわい目にはあったアライグマくん」誠信書房（2015） / 「子ども虐待とトラウマケア：再トラウマ化を防ぐトラウマインフォームドケア」金剛出版（2020） / 「子どものトラウマとPTSDの治療」誠信書房（2021）など

＊井上美鈴（臨床心理士/公認心理師・博士（心理学））

現職：東洋学園大学人間科学部准教授、あおきメンタルクリニック臨床心理士

専門：乳幼児精神保健

略歴：東京都立大学人文学部卒業、専修大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得後退学。精神科、小児科等で臨床を行い、清和大学短期大学部を経て現職

著書：低出生体重児の母親に関する臨床心理学的研究（2007）、生い立ちと業績から学ぶ精神分析入門（2015）（共著）、子ども家庭支援の心理学（2019）（編著）

＊北川恵（臨床心理士/公認心理師、教育学博士）

現職：甲南大学文学部教授

専門：発達臨床心理学、アタッチメント理論

略歴：京都大学教育学部教育心理学卒業、京都大学大学院教育学研究科臨床教育学専攻修士課程・博士後期課程修了、京都大学博士（教育学）。四天王寺国際仏教大学専任講師・助教（准教授）を経て2008年甲南大学文学部准教授、2012年より現職。2019年～2020年オランダLeiden大学客員研究員。Adult Attachment Interview認定コординーター。Circle of Security Parenting program（日本語版「安心感の輪」子育てプログラム）認定トレーナー

著作：「アタッチメントを学ぼう」（単著）日本評論社、「アタッチメントに基づく評価と支援」（共編著）誠信書房など

＊細金奈奈（児童精神科医）

現職：総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科副部長

専門：児童精神医学

略歴：慶応義塾大学医学部卒業、国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科、現・国立成育医療研究センター こころの診療部などを経て、2020年より現職

公職：日本精神・神経学会 親子・学校・女性の精神保健に関する委員会副委員長、日本乳幼児医学・心理学会評議員

著書：「注意欠如・多動症-ADHD-の診断・治療ガイドライン第5版」じほう、齊藤万比古、飯田順三 編、2022（分担執筆、第3章1.9「PCITおよびCARE」）など

＊上鹿渡和宏（児童精神科医、博士〈福祉社会学〉）

現職：早稲田大学人間科学学術院教授、同社会的養育研究所所長

専門：子ども家庭福祉

略歴：慶應義塾大学文学部哲学科倫理学専攻、信州大学医学部医学科卒業。京都府立大学大学院公共政策学研究科博士後期課程修了。佐久総合病院、静岡県立こころの医療センター、京都市児童福祉センター、信州大学医学部、長野大学社会福祉学部等を経て現職。乳児院の多機能化・機能転換や英国の里親研修プログラムの日本への導入、フォスタリング機関や都道府県社会的養育推進計画の実践展開等に携わる。

公職：厚生労働省「新たな社会的養育の在り方に関する検討会」構成員、子ども家庭審議会社会的養育・家庭支援部会委員、虐待防止対策部会委員

著書：『ルーマニアの遺棄された子どもたちの発達への影響と回復への取り組み 施設養育児への里親養育による早期介入研究（BEIP）からの警鐘』チャールズ・A・ネルソン、ネイサン・A・フォックス他を監訳

＊松本英夫（精神科医、医学博士）

現職：東海大学名誉教授

専門：児童青年精神医学

略歴：浜松医科大学医学部医学科卒業、同大学大学院医学研究科修了、同大学医学部精神神経科助手、同講師、国立療養所天竜病院精神科医長をへて浜松医科大学医学部精神神経科講師、1999年～2000年ロンドン Institute of Psychiatry (IOP) 留学後、東海大学医学部精神科助教授から同教授、2022年定年退職。医療法人丹沢病院、メンタルクリニック・タタには非常勤医師

公職：一般社団法人日本児童青年精神医学会監事、日本青年期精神療法学会理事、日本ADHD学会常務理事、児童分析臨床研究会運営委員、「青年期精神療法」編集委員

著書：「乳幼児精神保健の基礎と実践—アセスメントと支援のためのガイドブック」（編著）（岩崎学術出版社）、「心とかがわゆる臨床心理—基礎・実際・方法—」（共著）（ナカニシヤ出版）など

＊青木豊（精神科医、医学博士）

現職：医療法人春乃会理事長、あおきメンタルクリニック院長
非常勤講師として東京科学大学、東海大学医学部、早稲田大学招聘研究員

公職：NPO チャイルドファーストジャパン理事；日本乳幼児医学・心理学会評議員

専門：乳幼児精神医学・保健

略歴：山口大学医学部卒業後、東海大学医学部精神科に所属。1996～1998年ルイジアナ州立大学にて乳幼児精神保健専門家のためのハリスフェローシップを取得。

後チューレーン大学精神科にてフルタイム乳幼児研究員。帰国後 相州メンタルクリニック院長、乳幼児専門外来を開設、同専門外来はあおきメンタルクリニックの専門外来に引き継がれる。2011～2022年 目白大学人間学部子ども学科教授。2018年あおきメンタルクリニック代表を経て現職。Strange Situation法（ABC型）認定コординーター

著書：「アタッチメント（愛着）の理解と虐待による歪みへの支援 1,2」丸善出版（2020） 監修（映像）「乳幼児精神保健の基礎と実践—アセスメントと支援のためのガイドブック—」（著編）岩崎学術出版社）「乳幼児—養育者の関係性精神療法とアタッチメント」福村出版（2012）など